

## 生徒会活動を軸とした積極的な生徒指導について

観音寺市立観音寺中学校  
教諭 伊賀瀬 美保

### 1 はじめに

本校は生徒指導上の課題を抱えた生徒が多く、日々大なり小なりの問題行動が起きている。本校に赴任して初めに思ったことは、よい意味で「周囲より目立つ」ことを避ける雰囲気が生徒の間にあり、まじめな生徒が遠慮がちなことであった。リーダーたちは自分の役割はきちんと果たすが、自ら企画してまわりを巻き込みながら集団をプラスに持ち上げていくというエネルギーに欠けていると感じた。中間層の生徒たちは、行事の時には短期間でパワフルに盛り上がるが、普段の生活の中で一生懸命に何かをしたり、まじめに取り組んだりすることには消極的であった。また、集会時の表彰の返事の声は小さく、校歌を歌う声も細々としており、自分の所属する集団への帰属意識が低く、学校を誇りに思っている生徒が少ないのではないかと感じた。

そこで、本校の生徒であることに誇りを持ち、より良い学校を自分たちの手でつくり上げていける生徒を育てたいと考え、生徒会活動の活性化に取り組んだ。

### 2 実践の内容・方法

#### (1) 生徒会スローガンの決定

これまで各行事ごとに決めていたスローガンを、年間を通したスローガンに変更した。美術科の協力で大きな旗を制作し、1年間ずっと生徒の目に触れる体育館のステージに掲げた。「観中魂」とは、先輩から受け継いだ伝統や心意気のこと、で、「観中魂」をさまざまな場面で謳うことによって、生徒たちの心の中にその伝統や心意気を刻んでいこうと考えた。



2017年度「輝跡～輝け観中魂」



2018年度「飛翔～羽ばたけ観中魂」



2019年度「響颯～観中魂を響かせろ」

#### (2) 校歌うたい隊の結成

観音寺中学校に誇りを持って「校歌」を歌うために、有志を募り「校歌うたい隊」を4年前に結成した。2019年度は、全校生345人中199人がうたい隊メンバーとして活動し、月1回の生徒会朝礼や体育大会・合唱コンクールなどの行事でパフォーマンスを披露している。朝礼のある日は朝練習があり、2回遅刻で脱隊、集合や移動は無言という約束の中で活動を開始した。初年度は、教師が誘って参加した生徒も多く約90名が参加し、次の



【缶バッジ】

年からは生徒同士で誘い合って徐々にその輪が広がっていった。朝礼では、生徒会長の呼びかけでメンバーがステージに集合し、「心得」を叫んだ後で全力で校歌を歌い、次に自分の場所に戻ってメンバー以外の生徒を巻き込みながら歌った。結成2年目には本部役員が考えた「心得」を叫ぶようになり、3年目には美術部の生徒がデザインした缶バッジを身につけ、4年目の今年はハチマキを巻いて、という様に年々進化しながら活動を続けている。規律ある態度で大きな声で校歌を歌ったり、心得を叫んだりすることによって、きちんとすることの気持ちよさや一生懸命に校歌を歌うこと、学校に誇りを持つことの素晴らしさを体感させることができた。

## 観中 校歌うたい隊の心得

- 一、観中生であることに誇りを持つべし
- 一、観中をもっともっといい学校にするという強い気持ちを持つべし
- 一、心をこめて本気で校歌を歌うべし



【生徒会朝礼】



【体育大会】



【合唱コンクール】



### (3) ボランティア活動の活性化

本部役員が考えた「ボランティアに参加するときの4原則」を全校生に周知し、規律ある活動を目指してきた。ボランティアカードのスタンプが一定数を越えた生徒には「ボランティア精神もりもり賞」を贈って賞賛している。月1回行われる「あいさつボランティア」や「もくもくボランティア」（早朝清掃）へは、多くの生徒が参加している。4原則のひとつである『荷物整理』も徹底され、ボランティア活動以外の学校生活の中でも荷物を整理できる生徒が増えてきている。



【あいさつボランティア】

#### ボランティアに参加するときの4原則

- 1 時間厳守 決められた時間までに集まる！
- 2 荷物整理 かばんとナップは整えて並べる！
- 3 一所懸命 決して遊びではない。懸命に取り組み！
- 4 カード提出 カードを忘れず、もらおうスタンプ！

以上、厳守し観中をもっともっと良くしていこう！



【もくもくボランティア】

### (4) 常任委員会の活性化とリーダー育成

常任委員会においては、毎月行われる委員会での目標と対策を、生徒の実態に合ったものにし、目標に対する対策は、生徒が理解しやすく具体的で取り組みやすいものを心がけた。そして、各委員が調べた結果を、掲示したり、放送したりすることで、多くの生徒が前向きに取り組めるようになってきた。更に、結果の良かったクラスを賞賛したり、表彰したりすることによって、自ら所属集団を良くしていこうという意識を持つ生徒が徐々に増えてきた。

また、発信できるリーダーを育てることが重要であると考えたので、学年ごとに定期的にリーダー会や班長会をとり、全校評議会とクラスとを繋ぐパイプ役であることを自覚させながら、自分たちの生活を振り返って課題を見つけ、自分たちで解決していくという過程を繰り返し体験させた。

### (5) 教職員への啓発と協力依頼

生徒会の取り組みが生きるためには、学級担任はもちろん全ての教職員の協力が必要である。毎回取り組む内容を具体的に示したプリントを配付し、各学年の生徒会担当者からも声をかけるようにして、全職員が共通理解の上でいろいろな活動に取り組めるように工夫した。

## 3 実践の成果

これらの実践を行った結果、学期末に行う「学校生活に関する意識調査」において、いずれの数値も向上していることがわかる。特に「観中に誇りを持っているか」の項目で、「はい」と答えた生徒数は着実に増えてきている。また、卒業前の3年生に、後輩

に繋いで欲しい観中の伝統をたずねるアンケートをした結果、1位は2年連続で「校歌うたい隊」の活動であった。多くの生徒が観音寺中学校の生徒であるという誇りと帰属意識を持つことができ、自分の所属する学校をより良い学校にしたいという自律の精神や自浄力を育てることに繋がったと考えられる。

また、ボランティア活動に参加する生徒も年々増えており、月1回の朝のあいさつボランティアは、参加人数が多くなり過ぎたため、2018年度から全校一斉ではなく、学年や縦割りクラスに分けて活動することにした。朝の清掃ボランティアにも毎回全校生の3分の2近くの生徒が参加しており、大変活発に取り組めている。

リーダーを中心にさまざまな活動に積極的に参加してきた生徒の多くが、まじめにすること、一生懸命することはカッコいいことだという認識を持つようになってきた。前向きな提案に賛同したり、正しい発言をきちんと受け入れられたりする支持的な風土が広がってきている。生徒の口から「観中をもっともっといい学校にしよう!」という言葉聞くこともしばしばあり、自分の所属している集団に誇りを持つだけでなく、更にいい集団にしたいという意識が芽生えてきていると考えられる。

2019年3月8日発行

**観音寺中学校 道徳通信 3月号**



卒業間近の3年生にアンケートで聞きました

**あなたが思う「観中の伝統」教えてください!**

第72回卒業式が近づいてきました。今年度も、観中の最上級生として「先輩の格好良い姿」を様々な場面で見せてくれた3年生。観中で過ごした3年間の思い出を胸に、1、2年生は先輩方が残してきた観中魂を感じ取り、受け継ぐことができるような立派な卒業式にしましょう。

以下、アンケートの集計結果と感心させられたコメントや後輩へのメッセージを紹介します。

**1位 誇りをもつてカッコいい!! 校歌うたい隊**

○校歌を一生懸命歌うことで、観中の良さなどについて考えることができる。  
○どんな心で歌うかが大切! これからも頑張ってください。自分の成長も感じることができるぞ!!  
○これからも誇りをもって取り組んでほしい。 ○全校生を巻き込めるよう、がんばれ!  
○大きな声で校歌を歌うと気持ちいいし、気分も上がる! ○校歌を歌える幸せを感じてほしい。

【道徳通信】

学校生活に関する意識調査	→ 実践開始				
	2015	2016	2017	2018	
あいさつをしている。	92.0	94.6	93.1	93.9	90%以上をキープ
服装や頭髪を正しくしている。	87.6	94.0	94.6	94.9	約95%に向上
勉強や部活動に目標を持って取り組んでいる。	89.2	88.6	91.5	91.0	90%以上に向上
自分の学級で楽しく過ごせている。	89.5	89.8	90.3	90.4	90%以上に向上
観音寺中学校にほこりを持っている。	81.5	82.9	84.6	85.5	85%以上に向上

#### 4 普及させたい取組と期待される効果

特に、「校歌うたい隊」の活動において、多くの生徒が観音寺中学校の生徒であるという誇りと帰属意識を持つことができ、自分の所属する学校をより良い学校にしたいという自律の精神や自浄力を育てることに繋がったと考えられる。

#### 5 課題及び今後の取組の方向

マンネリ化しないように常に新しいアイデアを取り入れながら、今の良い状態が観音寺中学校の文化として根付くまで活動を継続したい。また、業務を引き継ぎながら若い世代を育てていくことも課題であると思う。生徒指導の役割は、問題が起きた時に対応することではなく、生徒たちの持つプラスの力を引き出しながら集団を向上させることにあると考えているので、これからも生徒会活動を軸とした積極的な生徒指導を実践していきたい。